

1 開会

(事務局)

それでは、ただいまから第1回三次市総合計画審議会を開催致します。

本日は大変ご多忙のところ、ご出席を頂きまして、誠にありがとうございます。議長が決定致しますまで、本日の会議の進行を務めさせて頂きます、私、政策部長の中村と申します。よろしくお願い致します。

それでは、開会にあたりまして、三次市長増田和俊がご挨拶を申し上げます。

2 あいさつ

(増田市長)

<あいさつ(略)>

(事務局)

ここで、市長から委員の皆様へ直接任命書をお渡しし、就任のお願いをするのが本意ではございますけれども、それぞれの席に配布させて頂いております。よろしくお願い致します。

なお、期間につきましては、本日、平成29年7月31日から平成31年7月30日までの2年間でございますので、重ねて何卒よろしくお願い致します。

それでは、ここで、審議会の委員にご就任頂きました皆様をご紹介します。

<各委員紹介(略)>

市長はここで、他の用務のため退席させて頂きます。何卒ご了承頂きますようお願い致します。続きまして、事務局の紹介を致します。

<事務局紹介(略)>

3 議事

(1) 審議会会長の選任について

(事務局)

ただいまの出席委員は22人でございます。定足数に達しておりますので、これより議事に入らせて頂きます。

まず、議事の1番目、審議会会長の選任についてお諮り致します。

三次市総合計画審議会条例第4条第1項の規定により、当審議会の会長は、互選により定めることになっております。運営規則の規定により、投票または指名推薦の方法により選出することができます。伊藤 敏安委員を推薦するという声がありましたが、いかがでしょうか。

(各委員了承)

それでは、異議なしということですので、審議会運営規則第2条第2項の規定の指名推薦により、伊藤委員を会長に決定させて頂きます。

これより、審議会運営規則第6条の規定により、会長に審議会の議長をお願いしたいと思います。伊藤会長、よろしくお願い致します。

(会長)

おはようございます。第2次総合計画策定当初からの委員の方もいらっしゃると思いますし、そうでない方も多くいらっしゃいます。この度の見直し・検証は、大変重要になってくることと思います。委員の皆様から様々なご意見・ご要望を頂きたいと思っておりますのでよろしくお願い致します。

議事の前に、審議会条例の第4条第3項で、会長に事故があるときには、あるいは欠けたときに

は、職務代理者を指定するという事になっております。私の方で、その職務代理者として、三次商工会議所の細川喜一郎委員にお願いしたいと思いますが、よろしいでしょうか。

(拍手, 各委員了承)

それではよろしくお願ひ致します。

それからもう1点、皆様にお諮りします。審議会運営規則第10条第3項の規定によりまして、本日の会議録の署名委員をお2人指名させて頂きたいと思ひます。名簿によりまして、貞廣和則委員と長尾香織委員に署名委員をお願いしたいと思ひますが、よろしいでしょうか。

(拍手, 各委員了承)

それでは、よろしくお願ひします。

(2) 第2次三次市総合計画の検証・見直しについて

(会長)

それではお手元の議事次第に沿って、審議を進めていきたいと思ひます。では、議事の2番目、第2次三次市総合計画の検証・見直しについて、事務局の方から資料の説明をお願いします。

(事務局)

<事務局説明(略)>

(会長)

ありがとうございました。委員の皆様からのご意見については、後程伺います。

資料も多かったと思ひますので、基本的な質問や聞き逃した事等がありましたら、手を挙げてご発言を頂けたらと思ひます。

特に資料4につきまして、この審議会で何を議論していくのか、現在の三次市の状況や新たな行政課題への対応の必要性等につきまして、いかがでしょうか。

(委員20)

資料4について、旧町村の高齢化が著しいということでしたが、旧町村の高齢者施設に高齢者が移られたこともあって、旧町村のほうが旧三次に比べて高齢化率が高いということが考えられるのでしょうか。

(事務局)

旧町村、旧三次ともに高齢者施設はあり、おっしゃるような影響もあるかもしれませんが、大きな要因ではないと思ひます。どちらかと言いますと、要因として、若年の働き手の年代の方が、市外へ出られ、高齢者の割合が大きくなっていることが考えられます。

(会長)

よろしいでしょうか。他にどなたか、資料の見方、数字の捉え方等につきまして、何かありますでしょうか。(意見なし)

ないようですので、本日は第1回目の会議ですので、総合計画の検証・見直しの進め方、策定当初に懸案だったことが進んでいるとか等について、ご意見があろうかと思ひます。それぞれの立場からご意見や進め方のご要望等をお聞かせいただければと思ひます。

(委員1)

やはり、人口問題は重要なので、今回の検証・見直しの際には、この問題を掘り下げて、それぞ

れの地域ごとの推移を出しながら、見直しを進めて頂きたいと思います。

(会長)

今のご意見のように、検証・見直しに必要なデータや、もっとこういう情報があった方がいいといったご要望もお聞かせいただければと思います。

(委員2)

初めて参加させて頂くのですが、私自身は子育てをしているところで、その立場から、小学校・中学校・高校のことなどについて発言していきたいと思います。

(委員3)

三次市女性連合会として初めて参加させて頂きますが、資料や皆様のご意見を聞きながら、発言していきたいと思います。

(委員4)

住民自治組織の代表として参加させてもらっています。私たちのテーマでもあります「定住化をめざす」ということですが、定住化についても様々な形、あるいは様々な分野が関わってくるかと思っています。子育てや農業など、様々な面を絡め、発展させながら考えていきたいと思っています。

(委員5)

人口減少ということで、森林組合を含めて、企業が求人を出しても応募がないことや、若者が市外に出ていっている状況を感じています。また、地域づくりについて、具体的にどうしていくのが各住民にしっかり浸透しているのかどうかと考えます。行政ができる部分や住民が力を合わせて取り組んでいく部分など、考えていきたいと思っています。

(委員6)

人口の問題が重要だと思っています。三次市民が一人ひとり、おもてなしの心を持って、市外の人をお迎えすることや、子どもが大人を敬い、大人は子どもを慈しむといった心を大切に、郷土愛を育てていくことが大切だと思っています。

(委員7)

日々の暮らしで、総合計画がどれだけ市民に浸透しているかが重要であると考えます。拠点性はかなり進んできていますが、最終目的である「住んでいて幸せかどうかどうか」や、どう変わってきているのかといった点について整理していく必要があるかと思っています。

(委員8)

大学があるのとないのでは、若者の流出が違うのではないかと感じています。健康増進について言えば、子ども世代には行政のサポートが充実しつつあると感じていますが、20代から60代の健康づくりの取組が手薄になっているのではないかと感じています。競技スポーツについては、中山間地域においては専門的な部分で足りない部分があると感じています。

(委員9)

第2次総合計画については、重要な計画であると思っています。4つの挑戦についてですが、特に人口減少については、早急で思い切った対策が必要であると思っています。拠点性については、三次

市は、2本の高速道路がクロスする利便性が高い地域だと思っておりますので、この利点をいかに活かすのかを検討しなければならないと思っています。

また、観光客数339万人がどのような動きをされ、どれだけの経済効果があるのか日頃から興味を持っているところです。中国やまなみ街道が開通して、酒屋地域には相当の観光客が来られていると思いますが、市街地の店舗の売り上げは約15%ダウンしており、三次市全体として捉えた時にどうなのかということを感じています。三次市観光協会という立場として、観光を三次市の産業として、いかに発展させていくか、自分自身も勉強していきたいと思っています。

(委員10)

三次広域商工会の代表として参加させていただいています。7町村の商工会が合併しておりますが、周辺部の商店や零細企業には課題があるかと思えます。拠点創造プロジェクトの資料を拝見したところ、酒屋地区に集中した取組は進んでいるように見えますが、これからは酒屋地区を拠点として周辺部に及ぶような施策を展開することが必要であると思えます。君田町については、後継者のいない家が多くあり、住居だけでなく農地も荒れ果てているのが現状です。そういう状況も踏まえながら、市民・行政が一緒になり、まちづくりを考える必要があるかと思えます。

(委員11)

初めて参加させていただきますが、子どもたちが三次市に住み続けたいと思えるようなまちづくりのために、皆様の意見を聞きながら発言していきたいと思っています。

(委員12)

今まで知らなかった施策が多く、総合的に進められている状況に感動しました。まちづくりの基本的な視点「誇り」「共生」「拠点性」、大切にしたいこと「参加」「行動」がすばらしいと感じました。この先、どんな計画を立てられようとも、みんなが参加し、行動しなければ計画は生きてこないと思います。まちづくりは地域づくりであり、お互いが思いやることが基本であると思えます。住み続けたいまちづくりのためには、ハードも大事だけれどもソフト面もしっかり取り組んでいく必要があると感じました。勉強させていただきながら、参加させていただきたいと思っています。

(委員14)

三次市教育振興会と三次市文化連盟を代表して、策定当初から参加をさせてもらっていますが、計画の見直し・検証については大変良いことだと思います。一番の根本的な問題は、少子高齢化があると思いますが、それに対し、三次市はどんな特色を持って将来に向かっていくのか、また、三次市以外の近隣市町との広域連携を踏まえた上で計画を見直ししていくべきではないかと感じています。また、行政主導だけではなく、地域との協働・連携も踏まえて見直しを進めていく必要があるかと思えます。こういう計画も当然ですが、行動が伴って成果・効果が生まれると思っていますので、そういった意味でも活動が活発化することを望みます。

(委員15)

農業を取り巻く環境は厳しくなっていますので、具体的な施策の展開が必要であると思えます。特に、遊休農地、荒廃農地が拡大して環境が悪化し、悪循環が生じている状況がありますので、そういった点を踏まえた上で、総合計画の見直しを進めてほしいと思えます。

地域づくりについて、携わっている方の高齢化が進んでおり、一方で、仕事の関係などで若者が地域づくりに参加できない環境があります。若者が地域づくりに参加できるような取組が必要であると感じています。

(委員 16)

策定当初は、医療の充実・介護との連携という視点で議論がされていたと思いますが、昨今の医療を取り巻く環境は変わってきています。これからは、病院から在宅、在宅から介護といった流れになってきます。そういった中で、高齢化は進み、慢性疾患が増えています。いかに健康寿命を延伸化するかが重要になってきます。病気をいかに発生させないかという一次予防、あるいは重篤化させないかということが大切になり、これからの医療は、まちづくりの中でどのように展開していくかが重要になるかと思えます。

例えば、1次予防について、介護が必要となる一番の原因は脳卒中が挙げられます。その原因の多くは高血圧ですが、減塩の取組が浸透していない状況があります。そういった中で、外食で減塩メニューが提供される、あるいはスーパーに行くとき減塩の惣菜があるといったことも必要になるかと思えます。

2次予防については、医療・介護の利用者が増える一方で、スタッフが相対的に減少しているのが現状で、地域や個人の自立（自己管理）も必要になるかと思えます。

また、介護保険の利用者が増えれば、今後、市の財政負担が大きくなってきます。さらには、若い人が仕事をできない、しっかり賃金が稼げないといった状況となれば、病院の受診が妨げられ、一次予防を進める上でも大きな問題になります。

単に医療の重点化、介護予防を進めるのではなく、まちづくりのなかでの医療・介護の有り方を提言していきたいと思っています。

(委員 17)

甲奴町の国際交流協会の代表をしています。ホームステイなど、アメリカス市との国際交流を進めています。甲奴町だけでなく、三次市全体の行事として取り組んでいます。民間の団体で行っていますが、実際は三次市からの補助金や支所職員の協力を頂きながら取り組んでいます。市役所の職員数が削減される中、支所の職員も減少している気がしますが、本庁と支所とのバランスや地域に出向いていく活動が維持されるかを心配しているところです。

また、「しあわせを実感する」ということは、何をもって検証できるかについて、今後、議論をさせていただきたいと思っています。

(委員 18)

当事務所では、江の川、国道54号、庄原備北丘陵公園を管理しております。その立場からお話させていただきますと、中国やまなみ街道が開通し、それを活かした継続した取組が必要かと思えます。また、備北地域という面的な捉え方で、他市と連携し、観光客を他方に引っ張っていくといった導線を考えることも必要なのではなかと思えます。

「かわまちづくり」についてですが、三次は、三川が合流する地域として景観的にすぐれていますし、鶉飼の取組もされている中で、地域住民の方が心をやすらげるような空間づくりを進めていきたいと考えています。どうしてもハード整備が先行しがちですが、せっかく作ったものをしっかり活用していけるよう利用者の声を聞きながら、後世に残るような整備をしていきたいと思えます。

また、国道54号についてですが、中国やまなみ街道が開通して交通量が減り、道の駅等の施設の入込客数が減っていく中で、道の駅ゆめランド布野については、力を入れて取り組んでいただいています。一つの施設だけで取組を進めるのではなく、グルメライドやサイクリングロードの取組もされる中で、島根県側の道の駅とも相互連携しながら進めていく必要があると感じています。

(委員 19)

保健分野は「くらしづくり」の分野になるかと思えますが、保健分野を取り巻く状況も変化し

続けています。地域包括ケアについては、高齢者だけではなく、子どもや障害のある方など、生まれてから亡くなるまですべての人を包括的に支えていく必要があります。そういった中で、やはり地域づくりが重要であると考えます。地域づくりを進める上では、行政だけでなく、様々な方と協力しながら進めることが大切であると思います。保健分野は住民の皆様の安心と安全を守っていくことが重要です。皆様と協議しながら考えていきたいと思っています。

(委員 20)

人口問題についての意見が多く挙がっていますが、私も人口問題が重要であると感じています。2030年には、人口5万人の堅持と書かれていますが、人口推移をもっと分析し、なぜ、いつ、三次市から人が出ているのか、どうすればどのくらいの人に戻ってくるのかを考える必要があるかと思っています。

私どもの大学へ三次からも多くの学生に来ていただいています。実際には、三次からの求人が大学に届いていないので就職先の斡旋ができない状況があります。総合計画で方向性が決まったら、具体的に私たちに何ができるのかを考えなければならないと思っています。

三次から出ていった方が戻ってきているケースもあると思います。住宅地の開発が進んでいる中で、新たに入られた若い世代がどのくらいいらっしゃるのか、世帯数の推移では見えませんが、せつかく来られた方が出て行ってしまっただけではどうにもならないので、三次にずっと死ぬまでいれるようなビジョンが必要であると感じています。高齢者が多いということは、逆に言えば、生まれ育った三次で死んでも良いと思ってくださっている方が多いということで、それを若者に広げていけたらいいのではないかと思います。

(委員 21)

策定当初に関わったときに、「『しくみづくり』を大事にしましょう」という話をしました。話を聞いている中で、現在は「しくみづくり」は機能しているということなのだろうと思いますが、「しかけ」が本当にできているのかについての検証をきちんとしていく必要があろうかと思っています。その上で、「参加」と「行動」が伴ってくるのだろうと思います。

見直しを進める上での話ですが、説明等で三次の拠点性が進んでいると感じましたが、外から来られる人が、元気なまちであると感じられることが重要だと思います。三江線廃止後の交通手段についても、住民が元気をもてるような、がんばろうと思えるような方法を考えていかなければならないと思います。

また、健全財政であるということですが、どこにお金を投入していくのかという点について、しっかり考えていく必要があろうかと思っています。

私どもの大学は隣の市にキャンパスがありますが、その学生や教員に話を聞いたところ、大学周辺に憩いの場があまりない状況で、日常的に三次に来ることが多いと伺っています。連携という意味ではまだまだ上手くいっていないところがあると思いますので、大学としてお手伝いできる部分について考えていきたいと思っています。

(委員 13)

三次市は、広島県、島根県を中心であり、ある程度の規模もあり、ポテンシャルがあると感じています。周辺市町の中では、もっと早く衰退している地域もありますので、周辺に比べると業種も多く残っている状況で、そういった意味でも可能性をもっと大切にしていかなければならないと感じています。拠点性という点で、県や市の境界は関係ないと思っておきまして、三次市は、県北を引っ張っていく立場にあると思っています。

女性と高齢者が活躍する社会をめざしていますが、まだ十分できていないのではないかと感じて

います。女性がフレキシブルに働く時代ですので、女性の就労の場を確保し、女性が三次市に帰ってくれば、夫・子どもと一緒に返ってくることになり、人口減の緩和にもつなげることができます。今後、女性が活躍できる場を考えていく必要があるかと思ひます。

現在のまちづくりの状況についての資料について、プラス面だけを書き出されていますが、マイナスの面や考えなければならぬ点が抜けていると思ひます。県・市の財政にも限界があります。三次市まち・ゆめ基本条例にも「市民は、社会全体の利益を考え、まちづくりにおいて自らの発言と行動に責任をもたなければなりません。」とありますが、本当に必要なところに投資することが必要だと思ひます。また、数値目標が出るものについては、数値目標を出しながら、達成度合いを整理していく必要があると思ひます。

(会長)

他に、これだけは言っておきたいということや思い出したことがあればご発言をお願いします。

(委員 8)

自分の立場について触れていませんでしたが、私自身、みわスポーツクラブに所属しております。文部科学省が推奨している総合型スポーツクラブで、全国で300数クラブあります。総合型スポーツクラブは、地域に密着した取組を行っているところですが、この審議会の中では、いろいろな例を提供していこうと思ひます。

(会長)

健康づくりや体力づくり・スポーツの振興といった分野を考えていく際に、具体的な事例をご紹介いただければと思ひます。

(委員 9)

よそのもの、わかもの、ばかものと言ひますが、ばかもの観点として、日頃感じていることを発言させていただきます。

三次のまちづくりを活性化していくためには、それぞれの地域ががんばっていかないとはいけません。人口減少や女性の就労、教育、拠点性を活かした未来の開拓という課題がありますが、その中でも、人口減少は大きな問題です。その点、人を外部から呼んできたかどうかを考えます。海田町に自衛隊の駐屯地がありますが、交通が麻痺している状況があります。三次には土地がありますので、海田町の駐屯地を三次に移すことも一つの案として考えられます。夢のような話ですが、交通の便利も良いので、大きな組織を呼ぶことも一つの策ではないかと思ひます。

もう一つに、シングルマザーを全国的に募集して、ヴィレッジを作ることはどうだろうか考えます。就労の場の確保、土地を使った自給自足、教育については、中高一貫校や大学などを誘致したらどうかと思ひます。良い教育者に来て頂き、良い教育環境が揃えば、人材も集まると思ひます。また、教育、就労、医療はワンセットになると思ひますので、その点も踏まえ、人口減少問題やまちの活性化のために、シングルマザーヴィレッジを作ったらどうか考えます。

(会長)

検証・見直しの点から、さらに踏み込んだご提案だったかと思ひます。その他、検証・見直しを進める上で、何か言い残したことでありますとか、次回までに事務局に提供頂きたいデータ等の要望がありましたらご発言をお願いします。

(委員 13)

残念ながら、この場に高校生がおられません。広島県教育委員会においては、小中学校も含めて、

地域の課題発見・解決学習を進めているところですが、地域の課題を自分たちの目で発見し、答えのない問題に答えを出していくという学習を行っています。高校生が考える地域の課題は何か、地域をどうしたいのかといった若者の意見を取り入れる場を設けていただければと思います。

(会長)

今の点については、資料4「2 検証・見直し方法」の市民調査において、中学3年生と高校2年生へのアンケートを実施する予定とされています。

また、委員の皆様から、アンケートの内容について、ご提案がありましたらご発言をお願いします。(意見なし)

ないようですので、資料4でスケジュールを確認頂いていますが、事務局の方から再度、「審議会開催スケジュール」について、説明をお願い致します。

(事務局)

スケジュールにつきまして、各審議会の会議内容については、書いております内容で、本審議会を入れて計5回程度の会議を予定しております。進捗によっては、会議の開催数が前後するかもしれませんので、ご了承いただければと思います。

会議の開催にあたりましては、あらかじめ事務局の方から日程等についてお知らせさせていただきます。

次回につきましては、今後、検証結果を整理させていただき、検証結果がまとまった段階で開催させて頂きたいと考えております。

(会長)

日程につきましては、計5回程度の開催ということと、次回の会議におきましては、検証結果を踏まえてデータ資料等が充実してくると思います。

最後に、確認しておきたいことや要望がありましたらご発言をお願いします。(意見なし)

ないようですので、予定した時間より早いですが、本日の会議を終了してまいりたいと思います。それでは、ここで事務局に進行をお返しします。

4 閉会

(事務局)

ご審議、誠にありがとうございました。本日、委員の皆様からいただいた意見等につきましては、今後の会議の資料等に反映させて頂きたいと思っています。引き続き、市の方から資料等提供させて頂き、ご意見を頂きたいと思っておりますのでよろしくお願い致します。

最後に、今後とも本市の行政運営に対しまして、お力添えを頂きますようお願いいたしまして、閉会のご挨拶とさせていただきます。本日は、ありがとうございました。